

「補聴援助システム」について

話し手が使用する「送信機（マイクロホン）」と、きき手が使用する「受信機（補聴器・人工内耳に追加するもの）」で構成する補聴をサポートするシステム

マイクロホンで拾った話し手の音声を、デジタル無線方式（※一部は FM 電波を使用）で受信機に直接送信するので、話し手の音声をクリアにきき手に届けることができるシステム

《Ⅰ》仕組み

【送信機（マイクロホン）】



【受信機】



※各社公式HP等より一部引用

《2》有効性

- ◇周囲の雑音や騒音を軽減し、話し手の音声を直接きき手にクリアに届けることができる
- ◇音声のきき取りが向上することで、聴覚をより活用できる
- ◇マイクモードを変更することで、一人の話し手だけではなく、グループでの話合い活動等にも活用できる
- ◇外部入力を使用することで、外部機器（パソコンやテレビ、CDデッキ、電子黒板 など）から直接きき手に音声を届けることができる（※機器によって、仕様の有無や入力モードが異なる）

《3》限界

- ◆音声によるきき取りは向上するが、聴力が改善するわけではない
- ◆送受信可能距離（※機器によって異なる）があり、大きな空間や遮蔽物があると使用が限られる